

1. 単元 「自己紹介をしよう」

2. 単元設定の理由

○こんな児童だから

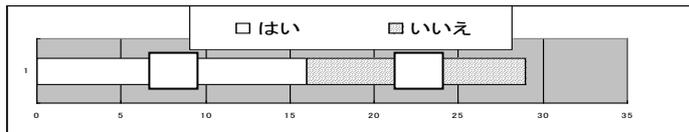
本学級の児童は、男子 名、女子 名の計 名である。本年度より週1単位時間、外国語活動を行っており、これまでにあいさつ、数字、色、感情や様子を表す表現に慣れ親しんでいる。外国語活動に関する学級アンケートを実施したところ、外国語活動の時間に「英語で友だちと関わることに自信がありますか?」という質問に対して 人中 人が「自信がない」と回答し、「英語で話そうと思いますか?」という質問に対して 人中 人が「いいえ」と回答している。外国語活動におけるコミュニケーションは英語を基本としているが、英語を使って「うまく表現できない、何と云っていいかわからない」、ということの意味している。それに対して「どんなものを使った活動がしたいですか?」という質問に対しては映像 人、電子黒板 人、NS（ネイティブスピーカー） 人と回答（複数回答）し、視覚・聴覚を刺激する活動を望んでいることが伺える。

○ 本単元「自己紹介をしよう」では、これまでに慣れ親しんできた表現に加え、児童にとって身近な食べ物、飲み物、動物、スポーツについて「好きなもの・嫌いなもの」としてスピーチすることをねらいとしている。児童が身近に触れる「英語」としては外来語が挙げられる。しかし発音は似ていても、正しくは日本語と英語ではその音に違いがあることを気付かせるため、児童にとって身近なものを取り上げる。自分たちの知っている英語と本当の英語の発音の違いを知ることで、英語に興味をもち、もっと知りたいという知的好奇心を高めることができると考える。本単元の内容としてコミュニケーションに関することでは、「自分の好きなものや嫌いなものを自己紹介することや、積極的に尋ねたり答えたりすること」、また「好き嫌いをはっきり言うことの大切さを知ること」、文化に関することでは、「発音の違いに気付き、英語の音声に慣れ親しむこと」で構成されており、自分のことを英語を使って表現する場が設定されている。これは自ら進んで表現しようとする児童を育成するうえでも意義深いと考える。

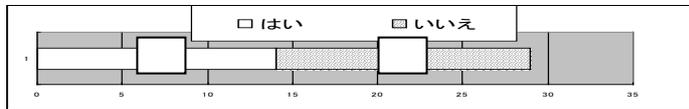
資料：事前アンケート

〔質問項目〕

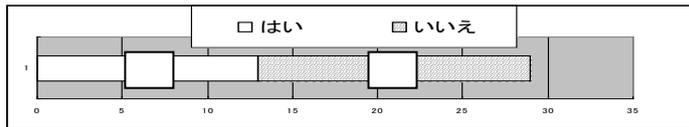
① 外国語活動の時間に英語で話すことは好きですか。



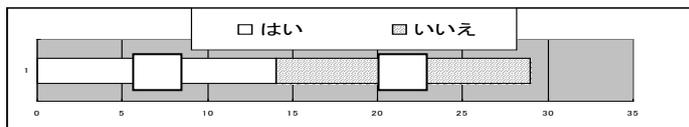
② 外国語活動の時間に友だちと英語でかかわることに自信ありますか。



③ 外国語活動の時間に英語で話そうと思いますか。



④ 自分の身の回りのことを英語で話すことはできますか。



○ 本単元では、児童自ら進んで表現しようとすることをねらいとして「電子黒板等の視聴覚機

器」を「効果的に活用」するという手立てを図っていく。指導にあたっては、毎時間電子黒板を活用し、自作の視聴覚教材を用いて、これまで慣れ親しんできた表現を含めた、NS による映像での「振り返り」や新たな表現事項に慣れ親しむ時間を設け、児童の表現したいという意欲を高めていくようにする。これは何度も英語に触れる機会を設けることと、児童が好きなきに確認できることをねらいとしている。第1時では、これまでに慣れ親しんできたあいさつ、数字、色、感情や様子を表す表現に加え、本単元で触れる「果物」「飲み物」「食べ物」「スポーツ」「動物」の英語での言い方と” Do you like～? Yes, I do/No, I don't” “I like ～” という表現を NS による映像で出合わせ、あらかじめ英語での表現の仕方を知っているという状態で「英語ノート」の活用を図っていく。また既習だけでなく、様々な場面に応じて使える表現も加えていく。第2時でも同様に、映像による「振り返り」の時間を設け、慣れ親しんだ表現を使ってさらに自信をもって活用し、コミュニケーションできるようにする。第3時では友だちや HRT へのインタビュー活動を通して、もっと自分のことを伝えたい、相手のことを知りたいという意欲を高めていく。さらに” Who am I?” ゲームを行い、インタビューしたことが分かたり、伝わったりした喜びを味合わせていく。第4時はスピーチのための資料作りやグループでのスピーチ練習を行う。グループ内でスピーチ練習を行い、自信をもたせたり、確認を行ったりして、全体の場でのスムーズなスピーチにつなげていく。児童が自ら作った資料を前単元に引き続き、電子黒板に提示しながらスピーチを行っていく活動を図っていく。

3 単元目標

- コミュニケーション活動を通して、自分の好きなもの・嫌いなものの英語での言い方に慣れ親しむ。
- 獲得した表現を使って、自分の表現したいことをスピーチする。

4 単元計画（計4時間）

時	ねらい	主な活動	言語材料
1	○ 相手の好きなものや嫌いなものを聞いてわかる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまで慣れ親しんだ英語での表現を振り返り、新しく慣れ親しむ表現を知る。 ○ 英語ノート付属 CD を聴いて、p 25 のキーワードゲームを行う。 ○ CD を聴いて、外来語と英語との発音の違いに気付く。 	Hello, ” my name is ○○” “How are you ?” “I’m good” “Not so good” one,two,three…, red,blue,yellow… bananas,apples,pineapples, strawberries,oranges,grapes, lemons,melons, milk,juice,coke,water baseball,swimming,soccer, skiing, icecream,pizza,suisi, hamburger,chocolate, dog,cat,bird,rabbit,fish,

2	○ 自分の好き嫌いを言う。	○ これまで慣れ親しんできた英語での表現を振り返り、新しく慣れ親しむ表現を知る。 ○ 英語ノート付属 CD を聴いて、p 26 と p 27 の Activity を行う。	あいさつや気分を表す表現 上記の食べ物、果物、飲み物、動物、スポーツ “Do you like ○○?” “Yes,I do. ” “I like ○○.” “No,I don't.” “How about you?” “I like ○○.” “What ○○ do you like?”
1 本時	○ 相手に好き嫌いを尋ねる。	○ これまで慣れ親しんできた英語での表現を振り返り、新しく慣れ親しむ表現を知る。 ○ ” Do you like○○?” を使って友だちや HRT とコミュニケーション活動を行う。 ○ コミュニケーション活動したことをもとに” Who am I” ゲームを行う。	あいさつや気分を表す表現 上記の食べ物、果物、飲み物、動物、スポーツ Do you like ○○? Yes,I do. No,I don't. I don't like ○○.
4	○ 自分の好き嫌いをスピーチする。	○ グループでスピーチの練習を行う。 ○ クラス全員の前でスピーチをする。	あいさつや気分を表す表現 上記の食べ物、果物、飲み物、動物、スポーツ Do you like ○○? Yes,I do. No,I don't. I like ○○.

5 本時（3/4）平成22年10月 日（ ） 校時 2階多目的室にて

6 本時指導の考え方

児童は前時までに自作視聴覚教材を使って、既習表現や「果物」「飲み物」「食べ物」「スポーツ」「動物」の英語での言い方、また外来語と英語との音の違いを知っている。本時は既習を生かして、友だちとコミュニケーション活動を行うことで、自分のことを表現したい、相手のことを知りたい、という思いを高めていく。

はじめに前時同様、活動の最初に振り返りを行い、第1時、第2時で慣れ親しんだ単語や文、及び本時で触れる単語や文に慣れ親しむ時間を設け、忘れていた表現や不確かな表現、新たな表現を確認していく。その中には本単元の最後に行うスピーチできる表現を含んでいる。

次に、” Do you like ○○?” を使って、友だち同士でインタビューを行う。友だちの質問に答えることができるように、自分の好きなものを書き込める欄と、友だちの好きなものを記入できる欄を作ったインタビューシートを用意しておく。できるだけたくさんの友だちと関わるのが、次のゲームに生かせることを伝えておき、意欲的に活動できるように言葉かけしておく。インタビューの際、どのように表現すればよいか忘れた児童は、電子黒板での映像を確認できるようにしておき、自信のな

い児童や違う表現をしたいという児童に支援できるようにしておく。

最後に友だちにインタビューしたことをもとに” Who am I?” ゲームを行うことで、自分の尋ねたことや自分が伝えたことが通じたという喜びを感じ取らせたい。

このような活動を行うことで、同じ表現や自分が知りたい表現を何度も確認することができ、自然と様々な表現に慣れ親しむことで、その結果自ら表現しようとする児童が育つと考える。

7 本時の目標

- “Do you like ○○” “Yes, I do/No, I don’t” の言い方に慣れ親しむ。
- コミュニケーション活動を通して、友だちの好きなものや嫌いなものを尋ねる。

8 準備

教師：電子黒板，インタビューシート，振り返りノート

児童：英語ノート，筆記用具

9 展開

時間	活動内容	HRT	指導上の留意点
3	(1) あいさつをする。 Hello ! I'm○○ It's sunny(rainy, cloudy...)	Let's start today's lesson. Hello ! How are you? How's the weather today?	○ 児童同士であいさつを行わせ、コミュニケーションの楽しさを味わうことができるようにする。
5 1	(2) 絵や実物をもった NS の映像を見て振り返りを行い、前時の単語や文を再度想起する。 (3) HRT クイズを行う。 (4) めあてを確認する。	Listen carefully. Repeat after ○○ sensei. Today's aim is this.	○ 児童が自然に発音できるように、HRT が率先して、聞こえたとおりに発音する。 ○ 前時まで慣れ親しんだ表現と本時で触れる表現を NS による映像として用意しておく。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">友だちや先生に好きなものをインタビューしよう。</div>			
2 0	(5) インタビューを行う。 ① カテゴリー別に好きなものを互いにインタビューする。 質問された児童は、 “Yes,I do” “No,I don't.” 及び使える表現で答える。 ② 質問した答えをインタビューシートに書き込む。 ③ 自由に動いて、たくさんの友だちにインタビューする。	Let's interview. I explain the rule of the activity. Demonstration. Do you have any questions? <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> “Do you like ○○?” “Yes, I do ” “No, I don't” “I like ○○.” “I don't like ○○.” </div>	○ 何と言っていいかわからない児童にはビデオで NS の映像を確認するように促す。 ○ 児童にはあらかじめ好きなもの・嫌いなものをきいておき、そのアンケートをもとに、問題を出していく。
1 3	(6) ” Who am I ” ゲームを行う。 ① 自分たちがインタビューしたことをもとに、だれかを当てるゲームを行う。	I ask you a question. Do you like ○○? Did you have fun?	
3	(7) 振り返りノートをもとに今日の活動を振り返る。		

インタビューシート

名前(○○ 先生)

自分の好きなもの

Fruits	Drink	Food	Sports	Animal
<input type="radio"/> いちご <input checked="" type="radio"/> レモン	<input type="radio"/> コーヒー	<input type="radio"/> スパゲッティ <input checked="" type="radio"/> アイスクリーム	<input type="radio"/> サッカー	<input type="radio"/> 馬

メモ

